

第 7 回における論点

1 業務による心理的負荷評価表の検討

(1) 評価表の「具体的出来事」を示すにあたっての考え方について、これまでの議論を踏まえ、どのように整理することが適当か。

- ・ 現行の評価表は、平成 22 年度ストレス調査を踏まえた詳細なものとなっているが、一部に類似性の高い項目が重複していたり、「強」と判断されることがまれな項目が多くあるなど、労災認定の指標としては、詳細であるがゆえのわかりにくさがあったのではないか。
- ・ 近年の請求件数の一層の増大と、労働者を取り巻く職場環境の変化に対応して、各項目への当てはめや心理的負荷の強度の評価が、適切かつ効率的に行えるようにする必要があるのでないか。
- ・ このため、これまでの議論において、出来る限り重複を避け、細分化された項目を一定程度統合するとともに必要な項目は追加し、また、各項目において事実を客観的に評価でき、かつ評価内容が明確化・具体化されるよう検討してきたと整理されるのではないか。

(2) 「具体的出来事」の類型①～③に関して、「強」「中」「弱」と判断する具体例や総合評価の視点を示すに当たり、どのような事項に留意すべきか。

- ・ これまで検討してきた「具体的出来事」の内容やその考え方、これまでの裁判例、裁決例等を踏まえ、「強」「中」「弱」と判断する具体例や総合評価の視点について、追記、修正等すべき事項として、どのようなものがあるか。

(3) 評価表における労働時間についての考え方をわかりやすく示すことについて、医学的知見の状況等を踏まえ、どのように考えるか。

- ・ 「特別な出来事」における極度の長時間労働、「具体的出来事」における総合評価の共通事項及び「強」「中」「弱」の具体例について、どのように示すことがわかりやすく、かつ、医学的知見を踏まえたものとなるか。

2 精神障害の労災認定要件①

- (1) 精神障害の労災認定要件のうち、「1 対象疾病を発病していること」について、医学的知見の状況等を踏まえ、妥当なものと考えてよいか。

(認定要件)

- 1 対象疾病を発病していること。
- 2 対象疾病の発病前おおむね6か月の間に、業務による強い心理的負荷が認められること。
- 3 業務以外の心理的負荷及び個体側要因により対象疾病を発病したとは認められないこと。

- (2) 認定基準で対象とする疾病（対象疾病）については、国際疾病分類第10回修正版（ICD-10）第V章「精神および行動の障害」に分類される精神障害であって、器質性のもの及び有害物質に起因するものを除くこととされている。

現在、ICDの最新版となる第11回改訂版（ICD-11）は発効されているが、統計法に基づく統計基準「疾病、傷害及び死因の統計分類」策定のためのICD-11の日本語訳は作成中の状況であり、対象疾病については、その確立を待って別途検討する必要があるのではないか。

認定基準の検証に係る具体的な論点（たたき台）

1 業務による心理的負荷評価表の検討

具体的な論点	参考事項
A 評価表の「具体的出来事」を示すに当たっての考え方について、これまでの議論を踏まえ、どのように整理することが適当か。 ・ 現行の評価表は、平成22年度ストレス調査を踏まえた詳細なものとなっているが、一部に類似性の高い項目が重複していたり、「強」と判断されることがまれな項目が多くあるなど、労災認定の指標としては、詳細であるがゆえのわかりにくさがあったのではないか。 ・ 近年の請求件数の一層の増大と、労働者を取り巻く職場環境の変化に対応して、各項目への当てはめや心理的負荷の強度の評価が、適切かつ効率的に行えるようにする必要があるのではないか。 ・ このため、これまでの議論において、出来る限り重複を避け、細分化された項目を一定程度統合するとともに必要な項目は追加し、また、各項目において事実を客観的に評価でき、かつ評価内容が明確化・具体化されるよう検討してきたと整理されるのではないか。	
B 「具体的出来事」の類型①～③に関して、「強」「中」「弱」と判断する具体例や総合評価の視点を示すに当たり、どのような事項に留意すべきか。	別紙のたたき台で検討してはどうか。 裁判例：第3回資料3 裁決例：資料4
C 評価表における労働時間についての考え方をわかりやすく示すことについて、医学的知見の状況等を踏まえ、どのように考えるか。 ・ 現行認定基準の労働時間についての考え方は、維持することが適当か。 ・ 総合評価の共通事項における恒常的長時間労働の取扱いについては、実質的に「強」と判断する具体例が示されていることを踏まえ、評価表においてどのように示すことが適当か。 ・ 時間外労働時間数に基づく具体例等に共通する留意事項を、評価表においてどのように示すことが適当か。	別紙のたたき台で検討してはどうか。 医学的知見：資料3 裁判例：第3回資料3 裁決例：資料4

業務による心理的負荷評価表に係る出来事の追加・修正・削除(たたき台)

出来事の種類	項目番号	現行		改正案			(参考)
		具体的出来事	負荷の強度	具体的出来事	負荷の強度	これまでのご意見	第5回案
① 事故や災害の体験	1	(重度の) 病気やケガをした	Ⅲ	重度の病気やケガをした	Ⅲ	・「重度」の病気やケガが「強」(Ⅲ)の想定であることから、括弧はない方が分かりやすいのではないか ・括弧について「強」に至らない場合も本項目に当てはめるに当たっての実務的な観点も含めて、事務局で整理されたい	(重度の) 病気やケガをした
	2	悲惨な事故や災害の体験、目撃をした	Ⅱ		Ⅱ		
② 仕事の失敗、過重な責任の発生等	3	業務に関連し、重大な人身事故、重大事故を起こした	Ⅲ	業務に関連し、重大な人身事故、重大事故を起こした	Ⅲ	・括弧書きについて要検討(項目1と同様)	業務に関連し、 <u>(重大な) 人身事故、(重大) 事故</u> を起こした
	4	会社の経営に影響するなどの重大な仕事上のミスをした	Ⅲ	大きな誤発注や多額の損失を発生させるなど仕事上のミスをした	Ⅱ	・括弧書きについて要検討(項目1と同様)	<u>(大きな誤発注や多額の損失を発生させるなど) 仕事上のミスをした</u>
	5	会社で起きた事故、事件について、責任を問われた	Ⅱ		Ⅱ		
	6	自分の関係する仕事で多額の損失等が生じた	Ⅱ	項目15に統合(項目4も参照)	—		
	7	業務に関連し、違法行為を強要された	Ⅱ	業務に関連し、違法な行為や不適切な行為を強要された	Ⅱ		同左
	8	達成困難なノルマが課された	Ⅱ	達成困難なノルマが課された・ <u>対応した・達成できなかった</u>	Ⅱ	・「達成困難な」が主観的であることから、より客観的な表現ができないか ・「達成不可能」との文言では主観が排除されないこと、平均的強度Ⅱの想定と異なってくることから、「達成困難」がよいのではないか ・「課された」「対応した」「達成できなかった」ことは一連の形でまとめると使いや	達成困難なノルマが課された、 <u>これに対応した、これを達成できなかった</u>
	9	ノルマが達成できなかった	Ⅱ	項目8に統合	—		
	10	新規事業の担当になった、会社の建て直しの担当になった	Ⅱ	新規事業や、大型プロジェクト(情報システムの構築等を含む)などの担当になった	Ⅱ	・システム導入について大型・新規等を明示し、項目15との質的な違いを明確にすべきではないか ・プロジェクトとシステム導入を「・」で並列にして、大型のシステム導入という趣旨としてはどうか	新規事業、 <u>大型プロジェクト、システム導入などの担当</u> になった
	11	顧客や取引先から無理な注文を受けた	Ⅱ	顧客や取引先から対応が困難な注文や要求等を受けた	Ⅱ	・追加する「顧客や取引先、施設利用者等から著しい迷惑行為を受けた」に含まれる「著しく不当な要求」との区分が分かるようにすべきではないか	顧客や取引先から無理な注文や要求を受けた
	12	顧客や取引先からクレームを受けた	Ⅱ	項目11に統合	—		
	13	大きな説明会や公式の場での発表を強いられた	Ⅰ	項目14・15に統合	—		
	14	上司が不在になることにより、その代行を任された	Ⅰ	上司や担当者の不在等により、 <u>担当外の業務を行った・責任を負った</u>	Ⅰ	・「予定された範囲を超えた業務」は仕事量に係るものであるため、上司や担当者の不在等による仕事の質が変化するというのであれば、担当外のもしくは想定外の業務を行った、責任を負ったとしてはどうか	上司や担当者の不在等により、 <u>予定された範囲を超えた業務を行った・責任を負った</u>

③ 仕事の量・質	15	仕事内容・仕事量の（大きな）変化を生じさせる出来事があった	II	仕事内容・仕事量の大きな変化を生じさせる出来事があった	II	・括弧書きについて要検討（項目1と同様）	仕事内容・仕事量の（大きな）変化を生じさせる出来事があった
	16	1か月に80時間以上の時間外労働を行った	II	1か月に80時間以上の時間外労働を行った	II	・80時間未満であれば「中」の具体例に当たらないとすれば、「など」は不要ではないか ・括弧書きについて要検討（項目1と同様）	（1か月に80時間以上の時間外労働など）長時間労働を行った
	17	2週間以上にわたって連続勤務を行った	II	2週間以上にわたって休日のない連続勤務を行った	II	・2週間未満の連続勤務であれば「中」の具体例に当たらないとすれば、「など」は不要ではないか ・休日がないことが負荷であることが明確になった ・括弧書きについて要検討（項目1と同様）	（2週間以上にわたるなど）休日のない連続勤務を行った
	調査項目4	感染症等の病気や事故の危険性が高い業務に従事した	－	感染症等の病気や事故の危険性が高い業務に従事した	II		同左
	18	勤務形態に変化があった	I	勤務形態、作業環境等の変化や不規則な勤務があった	I	・「仕事のペース」は項目15に近く、仕事量に重なる部分なので不要ではないか ・裁量権・裁量度について記載するか ・裁量権を入れると分かりづらいのではないか ・働く場所のことが入ってくるとより重要なポイントになる	勤務形態、仕事のペース、作業環境等の変化や不規則な勤務があった
	19	仕事のペース、活動の変化があった	I	項目18に統合	－		

業務による心理的負荷評価表に係る「強」「中」「弱」の具体例及び総合評価の視点(たたき台)

(類型①～③、労働時間について)

特別な出来事以外

(総合評価における共通事項) ※ 第6回検討会において検討

(具体的出来事)

出来事 の種類	平均的な心理的負荷の強度 具体的 出来事	心理的負荷の強度			心理的負荷の総合評価の視点	心理的負荷の強度を「弱」「中」「強」と判断する具体例			
		I	II	III		弱	中	強	
1	①事故 や災害 の体験	重度の病氣 やケガをした			☆	・ 病氣やケガの内容及び程度(苦痛や日常生活への支障の状況を含む)等 ・ その継続する状況(苦痛や支障の継続する状況、死の恐怖、事故等を再度体験することへの恐怖、回復の期待・失望の状況等の症状の経過を含む) ・ 後遺障害の程度、社会復帰の困難性等	【「弱」になる例】 ・ 休業を要さない又は数日程度の休業を要するものであって、後遺障害を残さない業務上の病氣やケガをした	【「中」になる例】 ・ 短期間の入院を要する業務上の病氣やケガをした ・ 業務上の病氣やケガをし、一部に後遺障害を残すも、現職への復帰に支障がないようなものであった【解説】 右の程度に至らない病氣やケガについて、その程度等から「弱」又は「中」と評価	【「強」である例】 ・ 長期間(おおむね2か月以上)の入院を要する業務上の病氣やケガをした ・ 又は労災の障害年金に該当する又は若しくは原職への復帰ができなくなる大きな後遺障害を残すような(労災の障害年金に該当する、現職への復帰ができなくなる、外形的に明らかで日常生活にも支障を来すなどの)業務上の病氣やケガをした(B16、B54) ・ 業務上の傷病により6か月を超えて業務上の病氣やケガで療養中の者について、当該傷病により社会復帰が困難な状況にあった、死の恐怖や強い苦痛が生じた(B10、B13) (注)生死にかかわる等の業務上の病氣やケガは、特別な出来事として評価
2		悲惨な事故 や災害の体験、目撃をした			☆	・ 本人が体験した場合、予感させる被害の内容及び程度、死の恐怖、事故等を再度体験することへの恐怖等 ・ 他人の事故を目撃した場合、被害の内容及び程度、被害者との関係、本人が被災していた可能性や救助できた可能性等	【「弱」になる例】 ・ 業務に関連し、本人の負傷は軽症・無傷で、悲惨とまではいえない事故等の体験、目撃をした	【「中」である例】 ・ 業務に関連し、本人の負傷は軽症・無傷で、生命等に支障はないような右の程度に至らない悲惨な事故等の体験、目撃をした(B13) ・ 特に悲惨な事故を目撃したが、被害者との関係もなく、傍観者的な立場での目撃であった。	【「強」になる例】 ・ 業務に関連し、本人の負傷は軽度・無傷であったが、自らの死を予感させる、あるいは重大な障害を招きかねない程度の事故等を体験した(B14) ・ 業務に関連し、被災者が死亡する事故、多量の出血を伴うような事故等特に悲惨な事故であって、本人が巻き込まれる可能性がある状況や、本人が被災者を救助することができたかもしれない状況を伴う事故を目撃した(B13) (傍観者的な立場での目撃は、「強」になることはまれ)
3	②仕事の失敗、過 重な責任の発生等	業務に関連し、重大な人身事故、重大事故を起こした			☆	・ 事故の内容、大きさ・重大性、社会的反響の大きさ、内容及び加害の程度等 ・ ペナルティ・責任追及の有無及び程度、事後対応の困難性、その後の業務内容・業務量の程度、職場の人間関係、職場の支援・協力の有無及び内容等 (注)本人に過失がない場合も含む。	【弱になる例】 ・ 軽微な物損事故を生じさせたが特段の責任追及・事故対応はなかった ・ 軽微な物損事故を生じさせ、再発防止のための対応等を行った	【「中」になる例】 ・ 他人に負わせたケガの程度は重度ではないが、事後対応に一定の労力を要した(強い叱責を受けた、職場の人間関係が悪化した等を含む)(B49) 【解説】 負わせたケガの程度、事後対応の内容等から「弱」又は「中」と評価	【「強」である例】 ・ 業務に関連し、他人に重度の病氣やケガ(項目1参照長期(おおむね2か月以上)の入院を要する、又は労災の障害年金に該当する若しくは原職への復帰ができなくなる後遺障害を残すような病氣やケガ)を負わせ、事後対応にも当たった ・ 他人に負わせたケガの程度は重度ではないが、事後対応に多大な労力を費した(減給、降格等の重いペナルティを課された、職場の人間関係が著しく悪化した等を含む) (注)他人を死亡させる等の事故は、特別な出来事として評価
4		大きな誤発注や多額の損失を発生させるなど仕事上のミスをした			☆	・ ミス失敗やその結果(損失、損害等)の内容、程度大きさ・重大性、社会的反響の大きさ等・損害等の程度 ・ ペナルティ・責任追及の有無及び程度、事後対応の困難性、その後の業務内容・業務量の程度、職場の人間関係、職場の支援・協力の有無及び内容等	【弱になる例】 ・ 軽微な仕事上のミスをしたが、通常想定される指導等を受けたほかは、特段の事後対応は生じなかった ・ 軽微な仕事上のミスをし、再発防止のための対応等を行った ・ 多額とはいえない損失(その後の業務で容易に回復できる損失、社内でのたびたび生じる損失等)等が生じさせ、何らかの事後対応を行った	【「中」である例】 ・ 会社に大きな損害を与えるなどのミスをしたが、通常想定される指導等を受けたほかは、特段の事後対応は生じなかった ・ 業務上製造する製品の品質に大きく影響する、取引先との関係に大きく影響するなどのミスをし、事後対応にも当たった(取引先からの叱責、ペナルティを課された等も含む)。(B1) ・ 多額の損失等をが生じさせ、何らかの事後対応を行った 【解説】 ミスの程度、事後対応の内容等から「弱」又は「中」と評価	【「強」になてある例】 ・ 会社の経営に影響するなどの重大な仕事上のミス(倒産を招きかねないミス、大幅な業績悪化に繋がるミス、会社の信用を著しく傷つけるミス等)をし、事後対応にも当たった ・ 「会社の経営に影響するなどの重大な仕事上のミス」とまでは言えないが、その事後対応に多大な労力を費した(懲戒処分、降格、月給額を超える賠償責任の追及等重いペナルティを課された、職場の人間関係が著しく悪化した等を含む)
5		会社で起きた事故、事件について、責任を問われた			☆	・ 事故、事件の内容、程度、当該事故等への関与・責任の程度、社会的反響の大きさ等 ・ ペナルティの有無及び程度、責任追及の程度、事後対応の困難性、その後の業務内容、業務量の程度、職場の人間関係、職場の支援・協力の有無及び内容等 (注)この項目は、部下が起こした事故等、本人が直接引き起こしたものでない事故、事件について、監督責任等を問われた場合の心理的負荷を評価する。本人が直接引き起こした事故等については、項目4で評価する。	【「弱」になる例】 ・ 軽微な事故、事件(損害等の生じない事態、その後の業務で容易に損害等を回復できる事態、社内でのたびたび生じる事態等)の責任(監督責任等)を一応問われたが、特段の事後対応はなかった	【「中」である例】 ・ 立場や職責に応じて事故、事件の責任(監督責任等)を問われ、何らかの事後対応を行った	【「強」になる例】 ・ 重大な事故、事件(倒産を招きかねない事態や大幅な業績悪化に繋がる事態、会社の信用を著しく傷つける事態、他人を死亡させ、又は生死に関わるケガを負わせる事態等)の責任(監督責任等)を問われ、事後対応に多大な労力を費した ・ 重大とまではいえない事故、事件ではあるが、その責任(監督責任等)を問われ、立場や職責を大きく上回る事後対応を行った(減給、降格等の重いペナルティが課された等を含む)(B12)

出来事 の類型	平均的な心理的負荷の強度	平均的な心理的負荷の強度			心理的負荷の総合評価の視点	心理的負荷の強度を「弱」「中」「強」と判断する具体例			
		具体的 出来事	心理的負荷の強度			弱	中	強	
			I	II					III
7	業務に関連し、違法な行為や不適切な行為を強要された		☆		・ 違法性・不適切の程度、強要の程度（頻度、方法、本人の拒否等の状況との関係）、本人の関与の程度等 ・ 事後のペナルティの程度、事後対応の困難性、その後の業務内容・業務量の程度、職場の人間関係、職場の支援・協力の有無及び内容等	【「弱」になる例】 ・ 業務に関連し、商慣習としてはまれに行われるような違法行為、不適切な行為を求められたが、拒むことにより終了した	【「中」である例】 ・ 業務に関連し、商慣習としてはまれに行われるような違法行為や、商慣習上不適切とされる行為、社内内で禁止されている行為等を命じられ、これに従った	【「強」になる例】 ・ 業務に関連し、重大な違法行為（人の生命に関わる違法行為、発覚した場合に会社の信用を著しく傷つける違法行為）を命じられた ・ 業務に関連し、反対したにもかかわらず、違法行為等を執拗に命じられ、やむなくそれに従った ・ 業務に関連し、重大な違法行為を命じられ、何度もそれに従った ・ 業務に関連し、強要された違法行為等が発覚し、事後対応に多大な労力を費した（重いペナルティを課された等を含む）	
8	達成困難なノルマが課された・対応した・達成できなかった		☆		・ ノルマの内容、困難性、強制的の程度、達成できなかった場合の影響等、ペナルティの有無及び内容等 ・ ノルマに対応するためその後の業務内容、業務量の程度、職場の人間関係、職場の支援・協力の有無及び内容等 ・ 未達成できなかったことによる経営上の影響度、ペナルティの程度有無及び内容等 ・ 未達成による事後対応の困難性、その後の業務内容、業務量の程度、職場の人間関係、職場の支援・協力の有無及び内容等 (注)ノルマには、達成が強く求められる業績目標等を含む。 また、未達成については期限に至っていない場合でも、達成できない状況が明らかになった場合にはこの項目で評価する。	【「弱」になる例】 ・ 同種の経験等を有する労働者であれば達成可能なノルマを課された ・ ノルマではない業績目標が示された（当該目標が、達成を強く求められるものではなかった） ・ ノルマが達成できなかったが、何ら事後対応は必要なく、会社から責任を問われることもなかった ・ 業績目標が達成できなかったものの、当該目標の達成は、強く求められていたものではなかった	【「中」である例】 ・ 達成は容易ではないものの、客観的にみて、努力すれば達成も可能であるノルマが課され、この達成に向けた業務を行った ・ 達成が容易ではないノルマが課され、この達成に向け一定の労力を費やした（B32） ・ ノルマが達成できなかったことにより、その事後対応に一定の労力を費やした、または一定のペナルティを受けた（昇進の遅れ等を含む）があった、強い叱責を受けた、職場の人間関係が悪化した（B5）	【「強」になる例】 ・ 客観的に相当な努力があっても達成困難なノルマが課され、これが達成できない場合には著しい不利益を被ることが明らかで重いペナルティがあると予告された、その達成のため多大な労力を費やした ・ 経営に影響するようなノルマ（達成できなかったことにより倒産を招きかねないもの、大幅な業績悪化につながるもの、会社の信用を著しく傷つけるもの等）が達成できず、そのため、事後対応に多大な労力を費した（懲戒処分、降格、左遷、賠償責任の追及といった等重いペナルティを課された等を含む） ・ 客観的に相当な努力があっても達成困難なノルマが達成できず、事後対応にも多大な労力を費した（重いペナルティを課された等を含む。）（B25）	
10	新規事業や、大型プロジェクト（情報システム構築等を含む）などの担当になった		☆		・ 新規事業等業務の内容、本人の職責、困難性の程度、能力と業務内容のギャップの程度等 ・ その後の業務内容、業務量の程度、職場の人間関係、職場の支援・協力の有無及び内容等	【「弱」になる例】 ・ 経微な新規事業等（新規事業であるが、責任が大きいとはいえないもの、期限が定められていないもの等）の担当になった	【「中」である例】 ・ 新規事業等（新規・大型プロジェクト、新規の研究開発、新規出店の統括、大型システム導入、会社全体や不採算部門の建て直し等、成功に対する高い評価が期待されやりがいも大きい責任も大きい業務）の担当になり、当該業務に当たった（B21、B24）	【「強」になる例】 ・ 経営に重大な影響のある新規事業等（失敗した場合に倒産を招きかねないもの、大幅な業績悪化につながるもの、会社の信用を著しく傷つけるもの、成功した場合に会社の新たな主要事業になるもの等）の担当であって、事業の成否に重大な責任のある立場に就き、当該業務に当たった	
11	顧客や取引先から対応が困難な注文や要求等を受けた		☆		・ 顧客・取引先の重要性、注文、要求、指摘の内容、会社の被る負担・与えた損害の内容、程度等 ・ 事後対応の困難性、その後の業務内容、業務量の程度、職場の人間関係、職場の支援・協力の有無及び内容等 (注)ここていう「要求等」とは、契約に付帯して商慣習上あり得る要求や、納品物の不適合の指摘等をいう。 (注)顧客からの指摘等が本人のミスによる場合は、項目4で評価する。	【「弱」になる例】 ・ 同種の経験等を有する労働者であれば達成可能な注文を出され、業務内容・業務量に一定の変化があった ・ 要望が示されたが、達成を強く求められるものではなく、業務内容・業務量に大きな変化もなかった ・ 顧客等から何らかの指摘タレムを受けたが、特に対応を求められるものではなく、取引関係や、業務内容・業務量に大きな変化もなかった	【「中」である例】 ・ 業務に関連して、顧客や取引先から対応が困難な注文（大幅な値下げや納期の繰上り、度重なる設計変更等）を受け、何らかの事後対応を行った ・ 業務に関連して、顧客等からタレム（納品物の不適合の指摘等その内容が妥当な指摘・要求もの、以下同じ）を受け、その事後対応に従事した（B46、B48） ・ 業務に関連して、顧客等から対応が困難な要求等を受け、その対応に従事した（B25）	【「強」になる例】 ・ 通常なら拒むことが明らかな注文（業績の著しい悪化が予想される注文、違法・不適切な行為を内包する注文等）ではあるが、重要な顧客や取引先からのものであるためこれを受け、他部門や別の取引先と困難な調整に当たる等の事後対応に多大な労力を費やした ・ 顧客や取引先から重大な指摘・要求タレム（大口の顧客等の喪失を招きかねないもの、会社の信用を著しく傷つけるもの等）を受け、その解消のために他部門や別の取引先と困難な調整に当たった	
14	上司や担当者不在等により、担当外の業務を行った・責任を負った		☆		・ 担当外の代行した業務の内容、責任、業務量の程度、本来業務との関係、能力・経験とのギャップ、職場の人間関係、職場の支援・協力の有無及び内容等 ・ 代行期間等	【「弱」である例】 ・ 上司等の不在時に上司等が担当していた業務を代行したが、当該業務は以前から経験しているものであった ・ 上司等の不在時に自らが当該業務の責任者の立場となったが、特に責任ある判断を求められる事態や追加の業務が生じる事態は生じなかった	【「中」になる例】 ・ 上司が長期間不在となり、各労働者との調整が必要なシフト表の作成等、一定の労力を要し責任もある業務を継続的に代行した	【解説】 代行により課せられた責任の程度、その期間や代行した業務内容、本人の過去の能力、経験等とのギャップ等から評価するが、「強」になることはまれ	

出来事 の種類	平均的な心理的負荷の強度	心理的負荷の総合評価の視点			心理的負荷の強度を「弱」「中」「強」と判断する具体例			
		具体的 出来事	心理的負荷の強度			弱	中	強
			I	II	III			
15	③仕事の量・質	仕事内容・仕事量の大きな変化を生じさせる出来事があった	☆	・業務の内容、困難性、能力・経験と業務内容のギャップ、職場の支援・協力の有無及び内容等 ・時間外労働、休日労働の状況とその変化の程度、勤務間インターバルの状況等 ・業務の密度の変化の程度、仕事内容、責任の変化の程度等 (注)発病前おおむね6か月において、時間外労働時間数に大きな変化がみられる場合には、他の項目で評価される場合でも、この項目でも評価する。	【「弱」になる例】 ・仕事内容の変化が容易に対応できるもの(※)であり、変化後の業務の負荷が大きくなかった ※ 大きな説明会での発表、部下の増加・減少、仕事のペース(作業速度)の変化、所属部署の統廃合等 ・仕事量(時間外労働時間数等)に、「中」に至らない程度の変化があった	○ 仕事内容・仕事量の大きな変化を生じさせる出来事があった 【「中」である例】※1参照 ・担当業務内容の変更、初めて担当する業務や日常的には実施していない困難な業務の実施、損失や不具合の発生への対応等により、仕事内容の大きな変化が生じた(B3,B4,B31,B33) ・取引量の急増、担当者の減少等により、仕事量の大きな変化(時間外労働時間数としてはおおむね20時間以上増加し1月当たりおおむね45時間以上となるなど)が生じた ・担当取引先からの契約を打ち切られるなど多額の損失が見込まれる事態が生じ、これを補うために積極的な営業活動等の事後対応を行った。 ・複数名で担当していた業務を一人で担当するようになり、業務内容・業務量が相当程度増加した	【「強」になる例】※1参照 ・過去に経験したことがない仕事内容、能力・経験に比して質的に高度かつ困難な仕事内容等に変更となり、常時緊張を強いられる状態となった又はその後の業務に多大な労力を費やした ・仕事量が著しく増加して時間外労働も大幅に増える(おおむね倍以上に増加し、1月当たりおおむね100時間以上となる)などの状況になり、その後の業務に多大な労力を費やした(休憩・休日を確保するのが困難なほどの状態となった等を含む)(B50) ・会社の経営に影響するなどの特に多額の損失(倒産を招きかねない損失、大幅な業績悪化に繋がる損失等)が生じ、倒産を回避するための金融機関や取引先への対応等の事後対応に多大な労力を費した ・担当者が減少して業務を一人で担当するようになったため、業務量が著しく増加し時間外労働が大幅に増えるなどの状況になり、かつ、必要な休憩・休日も取れない等常時緊張を強いられるような状態となった	
16		1か月以上80時間以上の時間外労働を行った	☆	・業務の困難性、能力・経験と業務内容のギャップ、職場の支援・協力の有無及び内容等 ・業務の密度、業務内容、責任等 ・長時間労働の継続期間、労働時間数、勤務間インターバルの状況等 (4注)この項目の「時間外労働」は、すべて休日労働時間を含む。 (注)発病前おおむね6か月において、1か月おおむね80時間以上の時間外労働がみられる場合には、他の項目(項目15の仕事量の変化を除く)で評価される場合でも、この項目でも評価する。	【「弱」になる例】 ・1か月におおむね80時間未満の時間外労働を行った (注)他の項目で労働時間の状況が評価されない場合のみに評価する。	【「中」である例】※1参照 ・1か月におおむね80時間以上の時間外労働を行った(B49) (注)他の項目で評価されない場合のみ評価する。	【「強」になる例】※1参照 ・発病直前の連続した2か月間に、1月当たりおおむね120時間以上の時間外労働を行い、その業務内容が通常その程度の労働時間を要するものであった(B35,B51,B55) ・発病直前の連続した3か月間に、1月当たりおおむね100時間以上の時間外労働を行い、その業務内容が通常その程度の労働時間を要するものであった(B23)	
17		2週間以上にわたって休日のない連続勤務を行った	☆	・業務の困難性、能力・経験と業務内容のギャップ、職場の支援・協力の有無及び内容等 ・業務の密度、業務内容、責任等及びそれらの変化の程度等 ・連続勤務の継続期間、労働時間数、勤務間インターバルの状況等	【「弱」になる例】 ・休日労働を行った ・休日出勤により連続勤務となったが、休日の労働時間が特に短いものであった	【「中」である例】※2参照 ・平日の時間外労働だけではこなせない業務量がある、休日に対応しなければならぬ業務が生じた等の事情により、2週間(42日)以上にわたって連続勤務を行った(B21,B43) (1日あたりの労働時間が特に短い場合、手待ち時間が長い等の労働密度が特に低い場合を除く)	【「強」になる例】※2参照 ・1か月以上にわたって連続勤務を行った ・2週間(42日)以上にわたって連続勤務を行い、その間、連日、深夜時間帯に及ぶ時間外労働を行った(いずれも、1日あたりの労働時間が特に短い場合、手待ち時間が長い等の労働密度が特に低い場合を除く)	
		感染症等の病気や事故の危険性が高い業務に従事した	☆	・業務の内容、困難性、能力・経験と業務内容のギャップ、職場の支援・協力(教育訓練の状況や防疫・災害防止対策の状況等を含む)の有無及び内容等 ・当該業務に従事する経緯、その予測の度合、当該業務の継続期間等	【「弱」になる例】 ・重篤ではない感染症等の病気や事故の危険性がある業務に従事した ・感染症等の病気や事故の危険性がある業務ではあるが、防護等の対策の負担は大きいものではなかった	【「中」である例】 ・感染症等の病気や事故の危険性が高い業務に従事し、防護等対策も一定の負担を伴うものであったが、確立した対策を実施すること等により職員のリスクは低減されていた	【「強」になる例】 ・新興感染症の感染の危険性が高い業務に急遽従事することとなり、防護対策も試行錯誤しながら実施する中で、施設内における感染拡大も生じ、自らも感染する恐怖、死の恐怖等を感じつつ業務を継続した	
18		勤務形態、作業速度、作業環境等の変化や不規則な勤務があった	☆	・交替制勤務、深夜勤務等、勤務形態の変化の内容、変化の程度、変化に至る経緯、変化後の状況等 ・作業環境(騒音、照明、温度、湿度、換気、臭気等)、作業場所の変化の内容、変化の程度、変化に至る経緯、変化後の状況等 ・勤務の不規則な程度、深夜勤務や勤務間インターバルの状況等	【「弱」である例】 ・日勤から夜勤、交替制勤務等に変更になったが、本人の意向を踏まえたものであり、業務内容・業務量にも変更はなかった ・自分の勤務形態がテレワークになった、部下、上司、同僚等がテレワークになった	【「中」になる例】 ・夜勤への対応が困難な事情を会社に申し出ているにもかかわらず頻回の夜勤を含む勤務に変更となり、睡眠時間帯が不規則な状況となった	【解説】 勤務形態、作業速度、作業環境等の状況、これらの変化の程度、一般的な日常生活とのギャップ、労働者の経験等とのギャップ等から評価するが、「強」になることはまれ	

【恒常的長時間労働がある場合に「強」となる具体例】 ※1参照	1か月おおむね100時間の時間外労働を「恒常的長時間労働」の状況とし、次の①～③の場合には当該具体的出来事の心理的負荷を「強」と判断する。 ① 具体的出来事の心理的負荷の強度が労働時間を加味せずに「中」程度と評価される場合であって、出来事後に恒常的な長時間労働が認められる場合 ② 具体的出来事の心理的負荷の強度が労働時間を加味せずに「中」程度と評価される場合であって、出来事の後に恒常的な長時間労働が認められ、出来事後すぐに(出来事後おおむね10日以内に)発病に至っている場合、又は、出来事後すぐに発病には至っていないが事後対応に多大な労力を費しその後発病した場合 ③ 具体的出来事の心理的負荷の強度が、労働時間を加味せずに「弱」程度と評価される場合であって、出来事の前及び後にそれぞれ恒常的な長時間労働が認められる場合
--------------------------------	---

特別な出来事	
特別な出来事の種類	心理的負荷の総合評価を「強」とするもの
極度の長時間労働	・ 発病直前の1か月におおむね160時間を超えるような、又はこれに満たない期間にこれと同程度の(例えば3週間におおむね120時間以上の)時間外労働を行った(※1参照休憩時間は少ないが手待ち時間が長い場合等、労働密度が特に低い場合を除く。) …項目16関連

時間外労働時間、連続勤務日数に関する注

※1 「時間外労働」とは、週40時間を超えて労働した時間をいう。
時間外労働時間数に基づく心理的負荷の強度の具体例等については、いずれも、休憩時間は少ないが手待ち時間が長い場合等、労働密度が特に低い場合を除くものであり、また、その業務内容が通常その程度の労働時間を要するものである場合を想定している。

※2 連続勤務日数に基づく心理的負荷の強度の具体例については、いずれも、1日あたりの労働時間が特に短い場合、手待ち時間が長い等の労働密度が特に低い場合を除くものである。

2 精神障害の労災認定要件①

具体的な論点	参考事項
A 精神障害の労災認定要件のうち、「1 対象疾病を発病していること」について、医学的知見の状況等を踏まえ、妥当なものと考えてよいか。	現行認定基準： 第2 認定要件 次の1、2及び3のいずれの要件も満たす対象疾病は、労働基準法施行規則別表第1の2第9号に該当する業務上の疾病として取り扱う。 1 対象疾病を発病していること。 2 対象疾病の発病前おおむね6か月の間に、業務による強い心理的負荷が認められること。 3 業務以外の心理的負荷及び個体側要因により対象疾病を発病したとは認められないこと。
B 認定基準で対象とする疾病（対象疾病）については、国際疾病分類第10回修正版（ICD-10）第V章「精神および行動の障害」に分類される精神障害であって、器質性のもの及び有害物質に起因するものを除くこととされている。 現在、ICDの最新版となる第11回改訂版（ICD-11）は発効されているが、統計法に基づく統計基準「疾病、傷害及び死因の統計分類」策定のためのICD-11の日本語訳は作成中の状況であり、対象疾病については、その確立を待って別途検討する必要があるのではないかと。 ・ 上記の状況を踏まえ、現行認定基準の対象疾病についての考え方は、当面、維持することが適当ではないか。 * ICD-10第V章「精神および行動の障害」に分類される精神障害と対象疾病とし、器質性のもの及び有害物質に起因するものを除く。 * 対象疾病のうち業務に関連して発病する可能性のある精神障害は、主としてICD-10のF2からF4に分類される精神障害と整理する。 * 器質性の精神障害及び有害物質に起因する精神障害については、器質性脳疾患に付随する疾病や化学物質による疾病等として認められるか否かを個別に判断する。 * いわゆる心身症は、本認定基準における精神障害には含まない。	ICD-10（2013年版）準拠「疾病、傷害及び死因の統計分類」 ※ 詳細は次頁以降 第V章 精神及び行動の障害（F00～F99） F00～F09 症状性を含む器質性精神障害 F10～F19 精神作用物質使用による精神及び行動の障害 F20～F29 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害 F30～F39 気分[感情]障害 F40～F48 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害 F50～F59 生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群 F60～F69 成人の人格及び行動の障害 F70～F79 知的障害〈精神遅滞〉 F80～F89 心理的発達の障害 F90～F98 小児<児童>期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害 F99 詳細不明の精神障害 決定状況：資料2 現行認定基準： 第1 対象疾病 本認定基準で対象とする疾病（以下「対象疾病」という。）は、国際疾病分類第10回修正版（以下「ICD-10」という。）第V章「精神および行動の障害」に分類される精神障害であって、器質性のもの及び有害物質に起因するものを除く。 対象疾病のうち業務に関連して発病する可能性のある精神障害は、主としてICD-10のF2からF4に分類される精神障害である。 なお、器質性の精神障害及び有害物質に起因する精神障害（ICD-10のF0及びF1に分類されるもの）については、頭部外傷、脳血管障害、中枢神経変性疾患等の器質性脳疾患に付随する疾病や化学物質による疾病等として認められるか否かを個別に判断する。 また、いわゆる心身症は、本認定基準における精神障害には含まれない。

ICD-10（2013年版）準拠
疾病、傷害及び死因の統計分類

<https://www.mhlw.go.jp/toukei/sippe/>

第V章 精神及び行動の障害（F00－F99）
Mental and behavioural disorders

本章は、次の中間分類項目を含む：

F00－F09 症状性を含む器質性精神障害
F10－F19 精神作用物質使用による精神及び行動の障害
F20－F29 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害
F30－F39 気分〔感情〕障害
F40－F48 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害
F50－F59 生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群
F60－F69 成人の人格及び行動の障害
F70－F79 知的障害＜精神遅滞＞
F80－F89 心理的発達の障害
F90－F98 小児＜児童＞期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害
F99 詳細不明の精神障害

本章の星印（*）項目は下記のとおりである：

F00* アルツハイマー＜Alzheimer＞病の認知症
F02* 他に分類されるその他の疾患の認知症

症状性を含む器質性精神障害（F00－F09）
Organic, including symptomatic, mental disorders

F00* アルツハイマー＜Alzheimer＞病の認知症（G30.-†）
Dementia in Alzheimer disease

F00. 0* アルツハイマー＜Alzheimer＞病の認知症、早発性（G30. 0†）
F00. 1* アルツハイマー＜Alzheimer＞病の認知症、晩発性（G30. 1†）
F00. 2* アルツハイマー＜Alzheimer＞病の認知症、非定型又は混合型（G30. 8†）
F00. 9* アルツハイマー＜Alzheimer＞病の認知症、詳細不明（G30. 9†）

F01 血管性認知症
Vascular dementia

F01. 0 急性発症の血管性認知症
F01. 1 多発梗塞性認知症
F01. 2 皮質下血管性認知症
F01. 3 皮質及び皮質下混合性血管性認知症
F01. 8 その他の血管性認知症
F01. 9 血管性認知症、詳細不明

F02* 他に分類されるその他の疾患の認知症
Dementia in other diseases classified elsewhere

F02. 0* ピック＜Pick＞病の認知症（G31. 0†）
F02. 1* クロイツフェルト・ヤコブ＜Creutzfeldt-Jakob＞病の認知症（A81. 0†）
F02. 2* ハンチントン＜Huntington＞病の認知症（G10†）
F02. 3* パーキンソン＜Parkinson＞病の認知症（G20†）
F02. 4* ヒト免疫不全ウイルス〔H I V〕病の認知症（B22. 0†）
F02. 8* 他に分類されるその他の明示された疾患の認知症

F03 詳細不明の認知症
Unspecified dementia

F04 器質性健忘症候群、アルコールその他の精神作用物質によらないもの
Organic amnesic syndrome, not induced by alcohol and other psychoactive substances

F 05 せん妄, アルコールその他の精神作用物質によらないもの

Delirium, not induced by alcohol and other psychoactive substances

F 05. 0 せん妄, 認知症に重ならないもの

F 05. 1 せん妄, 認知症に重なったもの

F 05. 8 その他のせん妄

F 05. 9 せん妄, 詳細不明

F 06 脳の損傷及び機能不全並びに身体疾患によるその他の精神障害

Other mental disorders due to brain damage and dysfunction and to physical disease

F 06. 0 器質性幻覚症

F 06. 1 器質性緊張病性障害

F 06. 2 器質性妄想性 [統合失調症様] 障害

F 06. 3 器質性気分 [感情] 障害

F 06. 4 器質性不安障害

F 06. 5 器質性解離性障害

F 06. 6 器質性情緒不安定性 [無力性] 障害

F 06. 7 軽症認知障害

F 06. 8 脳の損傷及び機能不全並びに身体疾患によるその他の明示された精神障害

F 06. 9 脳の損傷及び機能不全並びに身体疾患による詳細不明の精神障害

F 07 脳の疾患, 損傷及び機能不全による人格及び行動の障害

Personality and behavioural disorders due to brain disease, damage and dysfunction

F 07. 0 器質性人格障害

F 07. 2 脳振とう<盪>後症候群

F 07. 8 脳の疾患, 損傷及び機能不全によるその他の器質性の人格及び行動の障害

F 07. 9 脳の疾患, 損傷及び機能不全による器質性の人格及び行動の障害

F 09 詳細不明の器質性又は症状性精神障害

Unspecified organic or symptomatic mental disorder

精神作用物質使用による精神及び行動の障害 (F 10 - F 19)

Mental and behavioural disorders due to psychoactive substance use

下記の4桁細分類項目は項目F 10 - F 19に使用する。

. 0 急性中毒

. 1 有害な使用

. 2 依存症候群

. 3 離脱状態

. 4 せん妄を伴う離脱状態

. 5 精神病性障害

. 6 健忘症候群

. 7 残遺性及び遅発性の精神病性障害

. 8 その他の精神及び行動の障害

. 9 詳細不明の精神及び行動の障害

F 10.-アルコール使用<飲酒>による精神及び行動の障害

Mental and behavioural disorders due to use of alcohol

F 11.-アヘン類使用による精神及び行動の障害

Mental and behavioural disorders due to use of opioids

F 12.-大麻類使用による精神及び行動の障害

Mental and behavioural disorders due to use of cannabinoids

F 13.-鎮静薬又は催眠薬使用による精神及び行動の障害

Mental and behavioural disorders due to use of sedatives or hypnotics

F 14.-コカイン使用による精神及び行動の障害

Mental and behavioural disorders due to use of cocaine

F 15.-カフェインを含むその他の精神刺激薬使用による精神及び行動の障害

Mental and behavioural disorders due to use of other stimulants, including caffeine

F 15.- a カフェインによる精神及び行動の障害

F 15.- b アンフェタミンによる精神及び行動の障害

F 15.- c その他の精神刺激薬使用による精神及び行動の障害

F 16.-幻覚薬使用による精神及び行動の障害

Mental and behavioural disorders due to use of hallucinogens

F 17.-タバコ使用<喫煙>による精神及び行動の障害
Mental and behavioural disorders due to use of tobacco

F 18.-揮発性溶剤使用による精神及び行動の障害
Mental and behavioural disorders due to use of volatile solvents

F 19.-多剤使用及びその他の精神作用物質使用による精神及び行動の障害
Mental and behavioural disorders due to multiple drug use and use of other psychoactive substances

統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害（F 20－F 29）

Schizophrenia, schizotypal and delusional disorders

F 20 統合失調症

Schizophrenia

F 20. 1 破瓜型統合失調症

F 20. 2 緊張型統合失調症

F 20. 3 型分類困難な統合失調症

F 20. 4 統合失調症後抑うつ

F 20. 5 残遺型統合失調症

F 20. 6 単純型統合失調症

F 20. 9 統合失調症、詳細不明

F 21 統合失調症型障害

Schizotypal disorder

F 22 持続性妄想性障害

Persistent delusional disorders

F 22. 0 妄想性障害

F 22. 8 その他の持続性妄想性障害

F 22. 9 持続性妄想性障害、詳細不明

F 23 急性一過性精神病性障害

Acute and transient psychotic disorders

F 23. 0 統合失調症症状を伴わない急性多形性精神病性障害

F 23. 1 統合失調症症状を伴う急性多形性精神病性障害

F 23. 2 急性統合失調症様精神病性障害

F 23. 3 その他の妄想を主とする急性精神病性障害

F 23. 8 その他の急性一過性精神病性障害

F 23. 9 急性一過性精神病性障害

F 24 感应性妄想性障害

Induced delusional disorder

F 25 統合失調感情障害

Schizoaffective disorders

F 25. 0 統合失調感情障害、躁病型

F 25. 1 統合失調感情障害、うつ病型

F 25. 2 統合失調感情障害、混合型

F 25. 8 その他の統合失調感情障害

F 25. 9 統合失調感情障害、詳細不明

F 28 その他の非器質性精神病性障害

Other nonorganic psychotic disorders

F 29 詳細不明の非器質性精神病

Unspecified nonorganic psychosis

気分 [感情] 障害 (F 30－F 39)

Mood [affective] disorders

F 30 躁病エピソード

Manic episode

F 30. 0 軽躁病

F 30. 1 精神病症状を伴わない躁病

F 30. 2 精神病症状を伴う躁病

F 30. 8 その他の躁病エピソード

F 30. 9 躁病エピソード, 詳細不明

F 31 双極性感情障害<躁うつ病>

Bipolar affective disorder

F 31. 1 双極性感情障害, 現在精神病症状を伴わない躁病エピソード

F 31. 2 双極性感情障害, 現在精神病症状を伴う躁病エピソード

F 31. 3 双極性感情障害, 現在軽症又は中等症のうつ病エピソード

F 31. 4 双極性感情障害, 現在精神病症状を伴わない重症うつ病エピソード

F 31. 5 双極性感情障害, 現在精神病症状を伴う重症うつ病エピソード

F 31. 6 双極性感情障害, 現在混合性エピソード

F 31. 7 双極性感情障害, 現在寛解中のもの

F 31. 8 その他の双極性感情障害

F 31. 9 双極性感情障害, 詳細不明

F 32 うつ病エピソード

Depressive episode

F 32. 0 軽症うつ病エピソード

F 32. 1 中等症うつ病エピソード

F 32. 2 精神病症状を伴わない重症うつ病エピソード

F 32. 3 精神病症状を伴う重症うつ病エピソード

F 32. 8 その他のうつ病エピソード

F 32. 9 うつ病エピソード, 詳細不明

F 33 反復性うつ病性障害

Recurrent depressive disorder

F 33. 0 反復性うつ病性障害, 現在軽症エピソード

F 33. 1 反復性うつ病性障害, 現在中等症エピソード

F 33. 2 反復性うつ病性障害, 現在精神病症状を伴わない重症エピソード

F 33. 3 反復性うつ病性障害, 現在精神病症状を伴う重症エピソード

F33. 4 反復性うつ病性障害、現在寛解中のもの
F33. 8 その他の反復性うつ病性障害
F33. 9 反復性うつ病性障害、詳細不明

F34 持続性気分〔感情〕障害

Persistent mood [affective] disorders

F34. 0 気分循環症<Cyclothymia>
F34. 1 気分変調症<Dysthymia>
F34. 8 その他の持続性気分〔感情〕障害
F34. 9 持続性気分〔感情〕障害、詳細不明

F38 その他の気分〔感情〕障害

Other mood [affective] disorders

F38. 0 その他の単発性気分〔感情〕障害
F38. 1 その他の反復性気分〔感情〕障害
F38. 8 その他の明示された気分〔感情〕障害

F39 詳細不明の気分〔感情〕障害

Unspecified mood [affective] disorder

神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害（F40－F48）

Neurotic, stress-related and somatoform disorders

F40 恐怖症性不安障害

Phobic anxiety disorders

F40. 0 広場恐怖（症）
F40. 1 社会恐怖（症）
F40. 2 特定の〔個別的〕恐怖（症）
F40. 8 その他の恐怖症性不安障害
F40. 9 恐怖症性不安障害、詳細不明

F41 その他の不安障害

Other anxiety disorders

F41. 0 恐慌性<パニック>障害〔挿間性発作性不安〕
F41. 1 全般性不安障害
F41. 2 混合性不安抑うつ障害
F41. 3 その他の混合性不安障害
F41. 8 その他の明示された不安障害
F41. 9 不安障害、詳細不明

F42 強迫性障害<強迫神経症>

Obsessive-compulsive disorder

F42. 0 主として強迫思考又は反復思考
F42. 1 主として強迫行為〔強迫儀式〕
F42. 2 混合性強迫思考及び強迫行為
F42. 8 その他の強迫性障害
F42. 9 強迫性障害、詳細不明

F43 重度ストレスへの反応及び適応障害

Reaction to severe stress, and adjustment disorders

F43. 0 急性ストレス反応
F43. 1 外傷後ストレス障害
F43. 2 適応障害
F43. 8 その他の重度ストレス反応
F43. 9 重度ストレス反応、詳細不明

F44 解離性〔転換性〕障害

Dissociative [conversion] disorders

F44. 0 解離性健忘
F44. 1 解離性遁走<フーグ>
F44. 2 解離性昏迷
F44. 3 トランス及び憑依障害
F44. 4 解離性運動障害
F44. 5 解離性けいれん<痙攣>

F 44. 6 解離性無感覚及び感覚脱失
F 44. 7 混合性解離性〔転換性〕障害
F 44. 8 その他の解離性〔転換性〕障害
F 44. 9 解離性〔転換性〕障害, 詳細不明

F 45 身体表現性障害

Somatoform disorders

F 45. 0 身体化障害
F 45. 1 分類困難な身体表現性障害
F 45. 2 心気障害
F 45. 3 身体表現性自律神経機能不全
F 45. 4 持続性身体表現性疼痛障害
F 45. 8 その他の身体表現性障害
F 45. 9 身体表現性障害, 詳細不明

F 48 その他の神経症性障害

Other neurotic disorders

F 48. 0 神経衰弱
F 48. 1 離人・現実感喪失症候群
F 48. 9 神経症性障害, 詳細不明

生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群 (F 50－F 59)

Behavioural syndromes associated with physiological disturbances and physical factors

F 50 摂食障害

Eating disorders

F 50. 0 神経性無食欲症
F 50. 1 非定型神経性無食欲症
F 50. 2 神経性大食症
F 50. 3 非定型神経性大食症
F 50. 4 その他の心理的障害に関連した過食
F 50. 5 その他の心理的障害に関連した嘔吐
F 50. 8 その他の摂食障害
F 50. 9 摂食障害, 詳細不明

F 51 非器質性睡眠障害

Nonorganic sleep disorders

F 51. 0 非器質性不眠症
F 51. 1 非器質性過眠症
F 51. 2 非器質性睡眠・覚醒スケジュール障害
F 51. 3 睡眠時遊行症〔夢遊病〕
F 51. 4 睡眠時驚愕症〔夜驚症〕
F 51. 5 悪夢
F 51. 8 その他の非器質性睡眠障害
F 51. 9 非器質性睡眠障害, 詳細不明

F 52 性機能不全, 器質性障害又は疾病によらないもの

Sexual dysfunction, not caused by organic disorder or disease

F 52. 0 性欲欠如又は性欲喪失
F 52. 1 性の嫌悪及び性の喜びの欠如
F 52. 2 性器反応不全
F 52. 3 オルガズム機能不全
F 52. 4 早漏
F 52. 5 非器質性膣けい<瘻>
F 52. 6 非器質性性交疼痛(症)
F 52. 7 過剰性欲
F 52. 8 その他の性機能障害で, 器質性障害又は疾病に起因しないもの
F 52. 9 器質性障害又は疾病に起因しない詳細不明の性機能障害

F 53 産じょく<褥>に関連した精神及び行動の障害, 他に分類されないもの

Mental and behavioural disorders associated with the

puerperium, not elsewhere classified

F 53. 0 産じょく＜褥＞に関連した軽症の精神及び行動の障害, 他に分類されないもの

F 53. 1 産じょく＜褥＞に関連した重症の精神及び行動の障害, 他に分類されないもの

F 53. 8 産じょく＜褥＞に関連したその他の精神及び行動の障害, 他に分類されないもの

F 53. 9 産じょく＜褥＞精神障害, 詳細不明

F 54 他に分類される障害又は疾病に関連する心理的又は行動的要因

Psychological and behavioural factors associated with disorders or diseases classified elsewhere

F 55 依存を生じない物質の乱用

Abuse of non-dependence-producing substances

F 59 生理的障害及び身体的要因に関連した詳細不明の行動症候群

成人の人格及び行動の障害 (F 60 – F 69)

Disorders of adult personality and behaviour

F 60 特定の人格障害

Specific personality disorders

F 60. 0 妄想性人格障害

F 60. 1 統合失調症質性人格障害

F 60. 2 非社会性人格障害

F 60. 3 情緒不安定性人格障害

F 60. 3 a 衝動型人格障害

F 60. 3 b 境界型人格障害

F 60. 3 c その他の情緒不安定性人格障害

F 60. 3 d 情緒不安定性人格障害, 詳細不明

F 60. 4 演技性人格障害

F 60. 5 強迫性人格障害

F 60. 6 不安性 [回避性] 人格障害

F 60. 7 依存性人格障害

F 60. 8 その他の特定の人格障害

F 60. 9 人格障害, 詳細不明

F 61 混合性及びその他の人格障害

Mixed and other personality disorders

F 62 持続的人格変化, 脳損傷及び脳疾患によらないもの

Enduring personality changes, not attributable to brain damage and disease

F 62. 0 破局体験後の持続的人格変化

F 62. 1 精神科疾患り患体験後の持続的人格変化

F 62. 8 その他の持続的人格変化

F 62. 9 持続的人格変化, 詳細不明

F 63 習慣及び衝動の障害

Habit and impulse disorders

F 63. 0 病的賭博

F 63. 1 病的放火 [放火癖]

F 63. 2 病的窃盗 [盗癖]

F 63. 3 抜毛癖

F 63. 8 その他の習慣及び衝動の障害

F 63. 9 習慣及び衝動の障害, 詳細不明

F 64 性同一性障害

Gender identity disorders

F 64. 0 性転換症

F 64. 1 両性役割服装倒錯症

F 64. 2 小児＜児童＞期の性同一性障害

F 64. 8 その他の性同一性障害
F 64. 9 性同一性障害, 詳細不明

F 65 性嗜好の障害

Disorders of sexual preference

F 65. 0 フェティシズム
F 65. 1 フェティシズム的服装倒錯症
F 65. 2 露出症
F 65. 3 窃視症
F 65. 4 小児性愛
F 65. 5 サドマゾヒズム
F 65. 6 性嗜好の多重障害
F 65. 8 その他の性嗜好の障害
F 65. 9 性嗜好の障害, 詳細不明

F 66 性発達及び方向づけに関連する心理及び行動の障害

Psychological and behavioural disorders associated with sexual development and orientation

F 66. 0 性成熟障害
F 66. 1 自我異和的性の方向づけ
F 66. 2 性関係障害
F 66. 8 その他の心理的性発達障害
F 66. 9 心理的性発達障害, 詳細不明

F 68 その他の成人の人格及び行動の障害

Other disorders of adult personality and behaviour

F 68. 0 心理的理由による身体症状の発展
F 68. 1 身体的, 心理的症状又は障害の意図的表現又は偽装 [虚偽性障害]
F 68. 8 その他の明示された成人の人格及び行動の障害

F 69 詳細不明の成人の人格及び行動の障害

Unspecified disorder of adult personality and behavior

知的障害<精神遅滞> (F 70－ F 79)

Mental retardation

下記4 桁細分類項目は項目 F 70－ F 79 とともに行動面の機能障害の程度を特定するために用いられる：

． 0 行動面の機能障害がないか最小限であると言及されている

． 1 手当て又は治療を要するほどの行動面の機能障害

． 8 行動面のその他の機能障害

． 9 行動面の機能障害が言及されていない

合併する病態, たとえば自閉症, その他の発達障害, てんかん, 行為障害あるいは重度の身体的ハンディキャップなどの分類が必要な場合は, 追加コードを使用する。

F 70 軽度知的障害<精神遅滞>

Mild mental retardation

F 71 中等度知的障害<精神遅滞>

Moderate mental retardation - 63 -

F 72 重度知的障害<精神遅滞>

Severe mental retardation

F 73 最重度知的障害<精神遅滞>

Profound mental retardation

F 78 その他の知的障害<精神遅滞>

Other mental retardation

F 79 詳細不明の知的障害<精神遅滞>

Unspecified mental retardation

心理的発達障害 (F80－F89)
Disorders of psychological development

F80 会話及び言語の特異的発達障害

Specific developmental disorders of speech and language

- F80. 0 特異的会話構音障害
- F80. 1 表出性言語障害
- F80. 2 受容性言語障害
- F80. 3 てんかんを伴う後天性失語 (症) [ランドウ・クレフナー<Landau-Kleffner>症候群]
- F80. 8 その他の会話及び言語の発達障害
- F80. 9 会話及び言語の発達障害, 詳細不明

F81 学習能力の特異的発達障害

Specific developmental disorders of scholastic skills

- F81. 0 特異的読字障害
- F81. 1 特異的書字障害
- F81. 2 算数能力の特異的障害
- F81. 3 学習能力の混合性障害
- F81. 8 その他の学習能力発達障害
- F81. 9 学習能力発達障害, 詳細不明

F82 運動機能の特異的発達障害

Specific developmental disorder of motor function

F83 混合性特異的発達障害

Mixed specific developmental disorders

F84 広汎性発達障害

Pervasive developmental disorders

- F84. 0 自閉症
- F84. 1 非定型自閉症
- F84. 2 レット<Rett>症候群
- F84. 3 その他の小児<児童>期崩壊性障害
- F84. 4 知的障害<精神遅滞>と常同運動に関連した過動性障害
- F84. 5 アスペルガー<Asperger>症候群
- F84. 8 その他の広汎性発達障害
- F84. 9 広汎性発達障害, 詳細不明

F88 その他の心理的発達障害

Other disorders of psychological development

F89 詳細不明の心理的発達障害

Unspecified disorder of psychological development

小児<児童>期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害 (F90－F98)

Behavioural and emotional disorders with onset usually occurring in childhood and adolescence

F90 多動性障害

Hyperkinetic disorders

- F90. 0 活動性及び注意の障害
- F90. 1 多動性行為障害
- F90. 8 その他の多動性障害
- F90. 9 多動性障害, 詳細不明

F91 行為障害

Conduct disorders

- F91. 0 家庭限局性行為障害
- F91. 1 非社会化型<グループ化されない>行為障害
- F91. 2 社会化型<グループ化された>行為障害
- F91. 3 反抗挑戦性障害
- F91. 8 その他の行為障害
- F91. 9 行為障害, 詳細不明

F92 行為及び情緒の混合性障害

Mixed disorders of conduct and emotions

- F92. 0 抑うつ性行為障害
- F92. 8 その他の行為及び情緒の混合性障害
- F92. 9 行為及び情緒の混合性障害, 詳細不明

F93 小児<児童>期に特異的に発症する情緒障害

Emotional disorders with onset specific to childhood

- F93. 0 小児<児童>期の分離不安障害
- F93. 1 小児<児童>期の恐怖症性不安障害
- F93. 2 小児<児童>期の社交不安障害
- F93. 3 同胞抗争障害
- F93. 8 その他の小児<児童>期の情緒障害
- F93. 9 小児<児童>期の情緒障害, 詳細不明

F94 小児<児童>期及び青年期に特異的に発症する社会的機能の障害

Disorders of social functioning with onset specific to childhood and adolescence

- F94. 0 選択 (性) かん<緘>黙
- F94. 1 小児<児童>期の反応性愛着障害
- F94. 2 小児<児童>期の脱抑制性愛着障害
- F94. 8 その他の小児<児童>期の社会的機能の障害
- F94. 9 小児<児童>期の社会的機能の障害, 詳細不明

F 95 チック障害

Tic disorders

F 95. 0 一過性チック障害

F 95. 1 慢性運動性又は音声性チック障害

F 95. 2 音声性及び多発運動性の両者を含むチック障害

[ドゥラトゥーレット<de la Tourette>症候群]

F 95. 8 その他のチック障害

F 95. 9 チック障害, 詳細不明

詳細不明の精神障害 (F 99)

Unspecified mental disorder

F 99 精神障害, 詳細不明

Mental disorder, not otherwise specified

F 98 小児<児童>期及び青年期に通常発症するその他の
行動及び情緒の障害

Other behavioural and emotional disorders with onset usually
occurring in childhood and adolescence

F 98. 0 非器質性遺尿 (症)

F 98. 1 非器質性遺糞 (症)

F 98. 2 乳幼児期及び小児<児童>期の哺育障害

F 98. 3 乳幼児期及び小児<児童>期の異食 (症)

F 98. 4 常同性運動障害

F 98. 5 吃音症

F 98. 6 早口<乱雑>言語症

F 98. 8 小児<児童>期及び青年期に通常発症するその
他の明示された行動及び情緒の障害

F 98. 9 小児<児童>期及び青年期に通常発症する詳細
不明の行動及び情緒の障害

ICD-11の開発経緯

2007年 ICD-11改訂作業開始をプレス発表（東京）

WHOの改訂組織において、専門分野別部会等の共同議長をはじめ多くの日本の医学の専門家・団体が貢献

2016年 WHO世界保健総会（WHA）へ経過報告

10月 ICD-11改訂会議（東京）
加盟国レビューの実施

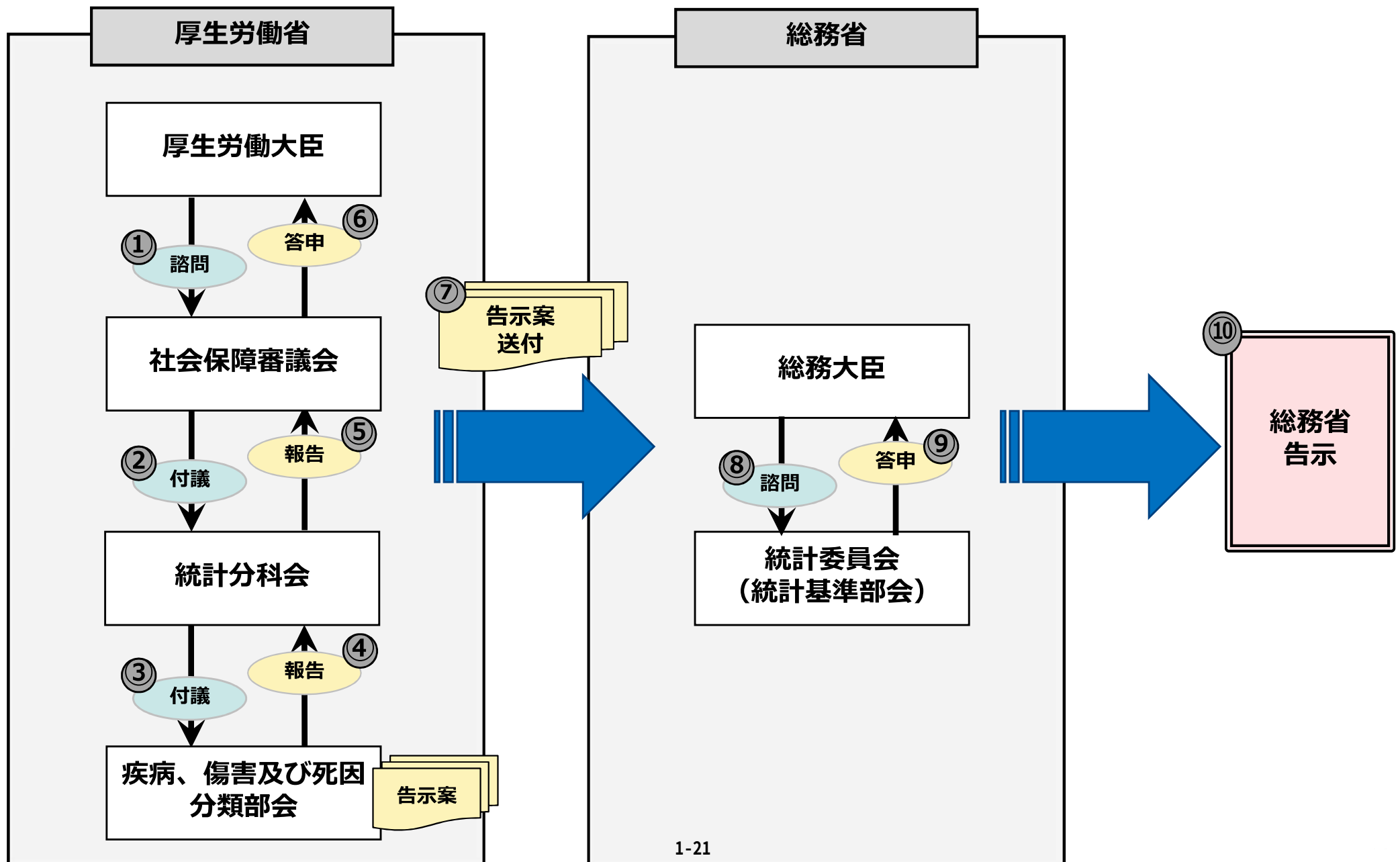
2017年  日本医学会、日本歯科医学会、ICD専門委員会、日本WHO国際統計分類協力センター等からの意見を取りまとめ、WHOへ提出

2018年 6月 ICD-11 Version for Implementation 公表

2019年 5月 第72回WHO世界保健総会（WHA）で採択

2022年 1月 ICD-11 発効

「疾病、傷害及び死因の統計分類」告示改正の流れ



<https://icd.who.int/browse11/1-m/en>

06 Mental, behavioural or neurodevelopmental disorders

Neurodevelopmental disorders

Schizophrenia or other primary psychotic disorders

Catatonia

Mood disorders

Anxiety or fear-related disorders

Obsessive-compulsive or related disorders

Disorders specifically associated with stress

Dissociative disorders

Feeding or eating disorders

Elimination disorders

Disorders of bodily distress or bodily experience

Disorders due to substance use or addictive behaviours

Impulse control disorders

Disruptive behaviour or dissocial disorders

Personality disorders and related traits

Paraphilic disorders

Factitious disorders

Neurocognitive disorders

Mental or behavioural disorders associated with pregnancy, childbirth
or the puerperium

Secondary mental or behavioural syndromes associated with disorders
or diseases classified elsewhere

Neurodevelopmental disorders

6A00 Disorders of intellectual development

6A01 Developmental speech or language disorders

6A02 Autism spectrum disorder

6A03 Developmental learning disorder

6A04 Developmental motor coordination disorder

6A05 Attention deficit hyperactivity disorder

6A06 Stereotyped movement disorder

6A0Y Other specified neurodevelopmental disorders

6A0Z Neurodevelopmental disorders, unspecified

Schizophrenia or other primary psychotic disorders

6A20 Schizophrenia

6A21 Schizoaffective disorder

6A22 Schizotypal disorder

6A23 Acute and transient psychotic disorder

6A24 Delusional disorder

6A25 Symptomatic manifestations of primary psychotic disorders

6A2Y Other specified primary psychotic disorder

6A2Z Schizophrenia or other primary psychotic disorders,
unspecified

Catatonia

6A40 Catatonia associated with another mental disorder

6A41 Catatonia induced by substances or medications

6A4Z Catatonia, unspecified

Mood disorders

Bipolar or related disorders

6A60 Bipolar type I disorder

6A61 Bipolar type II disorder

6A62 Cyclothymic disorder

6A6Y Other specified bipolar or related disorders

6A6Z Bipolar or related disorders, unspecified

Depressive disorders

6A70 Single episode depressive disorder

6A71 Recurrent depressive disorder

6A72 Dysthymic disorder

6A73 Mixed depressive and anxiety disorder

6A7Y Other specified depressive disorders

6A7Z Depressive disorders, unspecified

6A80 Symptomatic and course presentations for mood episodes in mood disorders

6A8Y Other specified mood disorders

6A8Z Mood disorders, unspecified

Anxiety or fear-related disorders

6B00 Generalised anxiety disorder

6B01 Panic disorder

6B02 Agoraphobia

6B03 Specific phobia

6B04 Social anxiety disorder

6B05 Separation anxiety disorder

6B06 Selective mutism

6B0Y Other specified anxiety or fear-related disorders

6B0Z Anxiety or fear-related disorders, unspecified

Obsessive-compulsive or related disorders

6B20 Obsessive-compulsive disorder

6B21 Body dysmorphic disorder

6B22 Olfactory reference disorder

6B23 Hypochondriasis

6B24 Hoarding disorder

6B25 Body-focused repetitive behaviour disorders

6B2Y Other specified obsessive-compulsive or related disorders

6B2Z Obsessive-compulsive or related disorders, unspecified

Disorders specifically associated with stress

6B40 Post traumatic stress disorder

6B41 Complex post traumatic stress disorder

6B42 Prolonged grief disorder

6B43 Adjustment disorder

6B44 Reactive attachment disorder

6B45 Disinhibited social engagement disorder

6B4Y Other specified disorders specifically associated with stress

6B4Z Disorders specifically associated with stress, unspecified

Dissociative disorders

6B60 Dissociative neurological symptom disorder

6B61 Dissociative amnesia

6B62 Trance disorder

6B63 Possession trance disorder

6B64 Dissociative identity disorder

6B65 Partial dissociative identity disorder

6B66 Depersonalization-derealization disorder

6B6Y Other specified dissociative disorders

6B6Z Dissociative disorders, unspecified

Feeding or eating disorders

6B80 Anorexia Nervosa

6B81 Bulimia Nervosa

6B82 Binge eating disorder

6B83 Avoidant-restrictive food intake disorder

6B84 Pica

6B85 Rumination-regurgitation disorder

6B8Y Other specified feeding or eating disorders

6B8Z Feeding or eating disorders, unspecified

Elimination disorders

6C00 Enuresis

6C01 Encopresis

6C0Z Elimination disorders, unspecified

Disorders of bodily distress or bodily experience

6C20 Bodily distress disorder

6C21 Body integrity dysphoria

6C2Y Other specified disorders of bodily distress or bodily experience

6C2Z Disorders of bodily distress or bodily experience, unspecified

Disorders due to substance use or addictive behaviours

Disorders due to substance use

6C40 Disorders due to use of alcohol

6C41 Disorders due to use of cannabis

6C42 Disorders due to use of synthetic cannabinoids

6C43 Disorders due to use of opioids

6C44 Disorders due to use of sedatives, hypnotics or anxiolytics

6C45 Disorders due to use of cocaine

6C46 Disorders due to use of stimulants including amphetamines, methamphetamine or methcathinone

6C47 Disorders due to use of synthetic cathinones

6C48 Disorders due to use of caffeine

6C49 Disorders due to use of hallucinogens

6C4A Disorders due to use of nicotine

6C4B Disorders due to use of volatile inhalants

6C4C Disorders due to use of MDMA or related drugs, including MDA

6C4D Disorders due to use of dissociative drugs including ketamine and phencyclidine [PCP]

6C4E Disorders due to use of other specified psychoactive substances, including medications

6C4F Disorders due to use of multiple specified psychoactive substances, including medications

6C4G Disorders due to use of unknown or unspecified psychoactive substances

6C4H Disorders due to use of non-psychoactive substances

6C4Y Other specified disorders due to substance use

6C4Z Disorders due to substance use, unspecified

Disorders due to addictive behaviours

6C50 Gambling disorder

6C51 Gaming disorder

6C5Y Other specified disorders due to addictive behaviours

6C5Z Disorders due to addictive behaviours, unspecified

Impulse control disorders

6C70 Pyromania

6C71 Kleptomania

6C72 Compulsive sexual behaviour disorder

6C73 Intermittent explosive disorder

6C7Y Other specified impulse control disorders

6C7Z Impulse control disorders, unspecified

Disruptive behaviour or dissocial disorders

6C90 Oppositional defiant disorder

6C91 Conduct-dissocial disorder

6C9Y Other specified disruptive behaviour or dissocial disorders

6C9Z Disruptive behaviour or dissocial disorders, unspecified

Personality disorders and related traits

6D10 Personality disorder

6D11 Prominent personality traits or patterns

Paraphilic disorders

6D30 Exhibitionistic disorder

6D31 Voyeuristic disorder

6D32 Pedophilic disorder

6D33 Coercive sexual sadism disorder

6D34 Frotteuristic disorder

6D35 Other paraphilic disorder involving non-consenting individuals

6D36 Paraphilic disorder involving solitary behaviour or consenting individuals

6D3Z Paraphilic disorders, unspecified

Factitious disorders

6D50 Factitious disorder imposed on self

6D51 Factitious disorder imposed on another

6D5Z Factitious disorders, unspecified

Neurocognitive disorders

6D70 Delirium

6D71 Mild neurocognitive disorder

6D72 Amnesic disorder

Dementia

6D80 Dementia due to Alzheimer disease

6D81 Dementia due to cerebrovascular disease

6D82 Dementia due to Lewy body disease

6D83 Frontotemporal dementia

6D84 Dementia due to psychoactive substances including medications

6D85 Dementia due to diseases classified elsewhere

6D86 Behavioural or psychological disturbances in dementia

6D8Y Dementia, other specified cause

6D8Z Dementia, unknown or unspecified cause

6E0Y Other specified neurocognitive disorders

6E0Z Neurocognitive disorders, unspecified

Mental or behavioural disorders associated with pregnancy, childbirth or the puerperium

6E20 Mental or behavioural disorders associated with pregnancy, childbirth or the puerperium, without psychotic symptoms

6E21 Mental or behavioural disorders associated with pregnancy,
childbirth or the puerperium, with psychotic symptoms

6E2Z Mental or behavioural disorders associated with pregnancy,
childbirth or the puerperium, unspecified

6E40 Psychological or behavioural factors affecting disorders or
diseases classified elsewhere

Secondary mental or behavioural syndromes
associated with disorders or diseases classified elsewhere

6E60 Secondary neurodevelopmental syndrome

6E61 Secondary psychotic syndrome

6E62 Secondary mood syndrome

6E63 Secondary anxiety syndrome

6E64 Secondary obsessive-compulsive or related syndrome

6E65 Secondary dissociative syndrome

6E66 Secondary impulse control syndrome

6E67 Secondary neurocognitive syndrome

6E68 Secondary personality change

6E69 Secondary catatonia syndrome

6E6Y Other specified secondary mental or behavioural syndrome

6E6Z Secondary mental or behavioural syndrome, unspecified

6E8Y Other specified mental, behavioural or neurodevelopmental
disorders

6E8Z Mental, behavioural or neurodevelopmental disorders,
unspecified